



特定非営利活動法人

神戸日独協会会報

BERICHTE DER NPO JAPANISCH-DEUTSCHEN GESELLSCHAFT KOBE

Nr. 406

Mai 2025

特定非営利活動法人 神戸日独協会
〒651-0085 神戸市中央区八幡通2-1-20
神戸リガッタ・アンド・アスレチック倶楽部1F
TEL/FAX 078-230-8150
E-mail: info@jdg-kobe.org
URL <https://www.jdg-kobe.org/>

NPO JAPANISCH-DEUTSCHE
GESELLSCHAFT KOBE
Bei Kobe Regatta & Athletic Club
In Isogami-Park Hachiman-Dori 2-1-20
Chuo-ku Kobe, Japan 〒651-0085

2025年度通常総会報告

NPO法人神戸日独協会会長 柘田 義一

2025年度通常総会が5月17日(土)に神戸リガッタ・アンド・アスレチック倶楽部ホールにて開催されました。各議題の報告・審議が行われ、すべての議題が了承されました。

2024年度の事業報告では主催行事として6月中旬の大阪・神戸ドイツ連邦共和国総領事館開設150周年記念講演会「神戸での日独交流～現状と将来展望」・祝賀会をはじめとする特別行事、ビアフェストなどの例年恒例行事等の開催が報告されました。主催行事での会員参加の減少及びドイツ語講座・ドイツ文化教室の受講者激減による財政上への大きな影響が指摘されました。会員サークルの活動については昨年事務所移転後に開設されたサークルを始め毎月活発な活動を行っていますが、伝統ある Stammtisch、ドイツ料理教室、若者のGJG等が休会状態であり、本年度の活動復活が期されます。

決算報告では、事務所移転による家賃・共益費の大幅な減額によるプラス収益の予算が組まれましたが、会員減少による会費収入減とドイツ語講座・ドイツ文化教室受講料の激減が予想を超えるものであったために赤字決算となったことが報告されました。

2025年度事業予定では大阪での万国博覧会におけるドイツ館の見学、昨年来のドイツをはじめEU圏内における政治・経済・社会上の混迷情勢の情報入手・理解のための時局講演会の随時開催予定が報告されました。ドイツ語講座・ドイツ文化教室の活性化ための刷新を早急に行うこと、休止状態の「会員サークル」の復活、シュレースヴィヒ・ホルシュタイン独日協会をはじめとする在独機関とのオンライン等を活用した交流活性化等を特に図ることが報告されました。

2025年度収支予算案については、前年度の実績を踏まえた上で、協会の収入三本柱である会費と講座・教室受講料と催事収入の前年度予算を若干下回る案が了承されました。支出についても節約・削減を目指し、輸送費や材料費等の昨今の高騰をも考慮した案が了承されました。

職務上の理由により辞任願を提出された赤松慎治郎氏、垣内正雄氏、多木和重氏の三理事の後任として、それぞれの後継者である神戸市経済観光局局長瀬合達也氏、シスメックス株式会社海外事業推進部部長洲巻 尚氏、前兵庫県公館長水口典久氏の理事就任が了承されました。

2025年度通常総会・会員懇親会に参加して

会員 川見 正之

5月17日(土)に神戸リガッタ・アンド・アスレチック倶楽部(KR&AC)2F ホールにて2025年度通常総会が開催されました。

まず議長として柘田会長が選任され、総会資料に従い2024年度の事業報告、決算報告、2025年度の事業計画、収支予算案が審議されました。

収支決算報告では、KR&AC への事務所移転による室料減に伴う支出低減効果が認められるも、会員数の低迷とドイツ語講座等の収入の減少が影響した収支計算結果となりました。

2025年度の事業計画案では、例年の行事に加え、本年度は大阪・関西万国博覧会ドイツ館見学が予定されています。

全ての審議項目は承認されましたが、出席者から次のコメントがありました。

- 残念ながら IT 化が遅れていると思う。昨年12月にトゥルンマー先生よりベートーベン第九についての興味深い講義があったが、IT を活用し神戸日独協会のコンテンツとして協会のホームページに講義の動画掲載も当協会の認知度向上の一策かと思う。先生のご了解と著作権等の課題のクリアーが必要だが。
- 少しでも財務状況の改善のためには、小額ではあるが会員サークル活動での事務所使用料の徴収の復活や、非会員から会員への入会モチベーションにつながる仕組みでの運用検討も必要かと思う。

柘田会長より「IT 推進には若い方や、この分野の得意な方のサポートが必要だが今後理事会やその他の会合で協議して行きたい。又、会員サークルでの催し物の参加者にはぜひとも会員になるようお勧めして行きたい」とのお話がありました。

最後に新理事のご紹介があり、退任理事への謝意を表して閉会となりました。

総会の後、KR&AC 1F レストランで会員親睦会が開催されました。

新会員の方や、元 OAG の関西支部長をされていたニッツさんご夫妻も参加され、古くからお付き合いのある会員の方々との会話も弾んでおられました。又、食事をとりながら、ドイツにまつわる共通の話題や、今年の関西万博での日独協会の行事についても話題となりました。

懇親会は、私たち参加者にとって楽しい会でしたが、コロナ禍以前の日独協会の行事と比べて、若い世代の参加が増えていないのは少し気になる所でした。

柘田会長をはじめ総会・懇親会を準備して下さった方々に感謝いたします。

会員の広場

このコーナーは、会報を通して会員相互の交流をしていただくための「広場」です。投稿をお待ちしています。

(投稿規定: MSPゴシック12ポ、A4 1枚程度まで(多くの方に投稿していただくために、字数を厳守してください)、添付にて毎月第4月曜までに事務局へ)

OSTER FESTSPIEL BADEN-BADEN

理事 押尾 愛子

私はオペラが大好きで、ここ数年はヨーロッパ各地のオペラ・フェスティバルに行くのを楽しみにしています。今までにワーグナーのオペラを上演するバイロイト音楽祭(ドイツ)、豪華な雰囲気のあるザルツブルク音楽祭(オーストリア)、ロッシーニのオペラを上演するペーザロ(イタリア)のロッシーニ・フェスティバル、ヴェローナ(イタリア)やオランジュ(フランス)の円形競技場をそのまま利用して行われる野外オペラ、個人の所有地を解放して休憩時間に田園風景を楽しむグランドボーン音楽祭(イギリス)などを訪れ、昨年は、湖に舞台を設置して湖畔の客席から見るブレゲンツ(オーストリア)の湖上オペラを見に行きました。今年は、前々から一度行きたいと思っていたバーデンバーデンのイースター音楽祭に行ってきました。

バーデンバーデンというとその名の通り、温泉で有名な保養地です。1998年にかつての駅舎を改装してバーデンバーデン祝祭劇場(Festspielhaus)ができ、2013年、イースター音楽祭でベルリンフィルが演奏しました。イースター音楽祭というとザルツブルクのイースター音楽祭が有名でしたが、40年以上行われてきたイースター音楽祭が2015年からバーデンバーデン祝祭劇場に移りました。ベルリンフィルの演奏は通常はコンサートで、オペラを演奏することは滅多にないので、イースター音楽祭はベルリンフィルのオペラ演奏を聴ける唯一の機会です。しかもベルリンフィルは今年が最後で、来年からはコンセルトヘボウ管弦楽団が演奏します。今年のバーデンバーデンのイースター音楽祭は4月12日～21日の10日間で、オペラ3回の外に連日コンサートが開かれていて、私もオペラに行く前日のコンサートにも行きました。オペラは「マダム・バタフライ(蝶々夫人)」です。ここは全員正装というわけではありませんが、タキシードやロングドレス姿も多いので、私は着物で参りました。

Baden-Baden に行ったついでに列車に乗って Freiburg、Kahrsruhe、Stuttgart、Heidelberg、Darmstadt、Frankfurt にも立ち寄りしました。

Stuttgart の駅は工事中で、列車を降りるとホームの前も横もまるで工事現場。駅正面に出る方向すら分からない有様で、人の流れについて行くと、道路の向かい側に Hotel Graf Zeppelin があって、駅正面に出たと分かりました。工事現場にはこう書かれていました。Wir bauen den schönsten Bahnhof der Welt.(我々は世界で最も美しい駅を建設中)。予定では2026年に完成だそうです。

2週間といっても正味10日間で7都市を回り、オペラやコンサートに10回通って、大忙しの毎日でした。



ドイツ歌声サロン

この会は、ドイツ歌曲・オペラの名曲、ドイツの流行歌やドイツ映画音楽、ビアソングのみならずド

イツの家庭や集会で広く歌われ、日本でも親しみ歌い継がれてきたドイツの愛唱歌をも採り上げています。3ヶ月でドイツ語での歌3曲をマスターします。

5月と6月は引き続き、Schneewaltzer (雪のワルツ)、An die Freude (歓喜の歌、ベートーヴェン交響曲第9番第4楽章で歌われる第一主題)に加えて、Wenn der weiße Flieder wieder blüht (再び白いライラックが咲いたら)を歌います。

講師：岩島 佳子さん

日時：5月24日(土) 13:30~15:00 (定例日が変更になっています)
6月15日(日) 13:30~15:00 (定例日が変更になっています)

場所：神戸日独協会教室

参加費：2000円

参加条件：神戸日独協会会員以外にも多くの方のご参加をお待ちしています。ドイツ語の歌を主として歌いますが、ドイツ語が初めての方も是非ともご参加ください。

申込：事務室へメール(info@jdg-kobe.org)・電話/ファックス(078-230-8150)にて。

ハントアルバイトの会(ポーセラーツ)

手仕事による製品作りのお好きな方の「会員サークル ハントアルバイトの会」が活動しています。カルチャー教室などでビーズ&ジュエリー刺繍やポーセラーツ等を学ぶ「ぶどうの木」を主宰している堀田真美子さんを講師としてお招きして、初めて参加の方はマグカップや小皿に、継続参加の方は希望の食器に希望の絵柄で製作します。自分のデザインによる食器作りを楽しみましょう。ご参加をお待ちしています。

講師：堀田真美子さん

日時：6月1日(日)14:00~16:00 (定例日が変更になっています)

場所：神戸日独協会教室

会費：1000円 (材料費)

6月例会は蛙の小カゴ、フラミンゴと亀のクリップ、ひまわりの小額を作成します。夏の季節にお手製の作品をお飾り下さい。

講師：堀田真美子さん、柘田節子さん

日時：6月22日(日)14:00~16:00

場所：神戸日独協会教室

会費：1500円 (材料費)

参加条件：神戸日独協会会員以外にも多くの方のご参加をお待ちしています。

申込：事務室へメール(info@jdg-kobe.org)・電話/ファックス(078-230-8150)にて。

ドイツ語談話室

第246回ドイツ語談話室

日時：2025年4月19日(土) 14-16時

場所：神戸日独協会会議室

テーマ：EXPO

今回の司会はドロテア合田さんが担当し、現在始まっている大阪万博のドイツ館について話された。ドイツ館の建設材料はすべて木製で、ケルンで準備され大阪へ搬送された。万博終了後はドイツに持ち帰り、すべて将来再利用される計画だ。自然にやさしく、無駄を出さない配慮があるとの事。各国のパビリオンには、それぞれのマスコットキャラクターがあるが、ドイツ館のものは丸くて御餅のように見える。

次に参加者の皆さんの発言を一部紹介する。

—人気のある国のパビリオンでは、長蛇の列が発生している。大阪万博が目指している、待ち時間のない万博、とは程遠いものだ。

—大阪万博の入場料は非常に高すぎるので、行こうとは思わない。また、入場券の入手方法も、単に行って窓口で買えるのではなく、前もってインターネットから予約するなど、ややこしい。

—大阪万博の跡地は、カジノを含む統合型リゾートとするようだが、博打場を作るなんてもののほかであり、考え直すべきだ。

—今回の万博では日陰を作る配慮がなく、入場者は暑さ対策をして行かねばならない。入場者数を増やすことばかり考えていて、そうした入場者への対策が欠けている。

—1970年の前回大阪万博は、入場者にとって大変楽しみがある万博であった。当時の各国の展示は最新の技術の紹介で、とても新鮮で興味の沸くものだった。淡路島の半分くらいの国土面積であるマルタが、とてもユニークな展示をしていたのを思い出す。

—前回の大阪万博、スイス館では、スイスのメーカーで開発されていた大型船舶用の巨大ディーゼルエンジンの一部が展示された。当時このスイス社に勤めていて、展示の手伝いをした。

今後のドイツ語談話室の予定：

第248回 2025年6月21日(土) テーマ：30年前の私たちの生活

Protokoll der 246. Deutschen Gesprächsrunde

Zeit: Samstag, 19. April 2025, 14 bis 16 Uhr

Thema: Die Weltausstellung in Osaka

Dieses Mal hatte Frau Dorothea Goda die Gesprächsleitung und erzählte vom deutschen Pavillon in der Weltausstellung in Osaka. Alle Baumaterialien für den deutschen Pavillon bestanden aus Holz, das in Köln vorbereitet und nach Osaka transportiert wurde. Nach Abschluss der Expo werden die Gegenstände wieder nach Deutschland zurückgebracht und sollen dort einer erneuten Verwendung zugeführt werden. Sie sind umweltfreundlich, man achtete darauf, möglichst keinen Abfall zu produzieren. Jeder Länderpavillon hat sein eigenes Maskottchen. Das des deutschen Pavillons ist rund und sieht aus wie ein Mochi (Klöße aus Klebreis).

Hier einige der Wortmeldungen zum Thema:

-An den beliebten Pavillons haben sich lange Schlangen gebildet. Man ist weit von dem Ziel entfernt, bei der Weltausstellung möglichst Wartezeiten zu vermeiden.

-Der Eintritt ist zu teuer, weshalb einer der Teilnehmer meinte, dass er nicht hingehen möchte. Es ist auch kompliziert, an die Tickets zu kommen, sie müssen online reserviert werden und können nicht am Schalter gekauft werden.

-Das Gelände der Weltausstellung soll danach in ein Resort mit einem Kasino umgewandelt werden. Der Bau eines Zentrums für Glücksspiel sollte aber unbedingt noch einmal überdacht werden.

-Am Gelände der Ausstellung gibt es kaum Schattenplätze. Die Besucher müssen selbst Maßnahmen ergreifen, um sich vor der Hitze zu schützen. Die Betreiber bemühen sich, die Besucherzahlen zu erhöhen, es fehlt aber an den erforderlichen Maßnahmen, um mit großen Besucherzahlen umzugehen.

-Die Weltausstellung in Osaka im Jahr 1970 haben viele in erfreulicher Erinnerung. Die Exponate der einzelnen Länder stellten damals die neuesten Technologien vor. Alles war sehr aktuell und interessant. Eine Teilnehmerin erinnert sich an Malta, das mit einem eigenen Pavillon vertreten war, obwohl das Land nur etwa halb so groß ist, wie die Insel Awaji.

-1970 war im schweizer Pavillon ein Teil eines riesigen Dieselmotors für große Schiffe ausgestellt. Dieser war von einem Hersteller aus der Schweiz entwickelt worden. Einer der Teilnehmer war damals für dieses Unternehmen tätig und hat bei der Ausstellung mitgeholfen.

Nächste Treffen:

Samstag, 21. Juni 2025, 14 bis 16 Uhr. Thema: Unser Leben vor 30 Jahren

連載 ドイツ語閑話

第6回 言語の比較について

会長 栞田 義一

連載再開に当たって この連載は会報334号(Oktober 2018)で始めましたが、コロナ禍や事務所移転に関する記事優先のために連載を中断してきました。

近年残念なことに弊協会の「ドイツ語講座」の受講者が激減しています。英語一辺倒の風潮、スマホなどIT技術の急速な発達、協会でのドイツ人との接触機会の減少等々その原因は挙げられます。ドイツ(語圏)の理解、ドイツ(語圏)人との交流にとってドイツ語はその基盤となるものです。協会では講座カリキュラムの刷新、Trummer 常務理事を中心とした「ドイツ語特別講座」の開講等により会員皆様のドイツ語への関心の喚起に努めてきました。これに私も少しでも寄与できればと連載を再開させていただきます。半世紀に渡ってドイツ語学(Philologie)を専攻してきましたので、ドイツ人はこのように捉えて、このように表現するのだ、そのためのドイツ語の構造はこうなのだ、

ドイツ語と英語との関係といったことを取り上げますので、「ドイツ語の楽しさ」を共有しましょう。

再開第一回目(第6回)は「言語の比較」についてお話しします。

言語は他の言語と比べることによって、それぞれの言語の特徴や独自性がより良く分かってきます。言語の比べ方には二つあります。一方は同じ系統に属する(と思われる)類似する言語の比較、例えば「ドイツ語と英語」などです。他方は同系か否かを問わずに任意の言語の比較、例えば「日本語とドイツ語」、「日本語と英語」などです。前者を比較(komparativ)言語学、後者を対照(kontrastiv)言語学と言います。比較言語学によって英独両語間の同族性とそれぞれの歴史的変化が解明され、音韻・文法・語彙などの間での対応関係が確立されています。同じゲルマン語である英独両語は共通の音韻特徴を持っていました。5～7世紀にドイツ南部のバイエルン族などの間で子音の一部が体系的に変化しましたが、英国人の祖先である北部のアングロ・サクソン両族の間では変化しませんでした。この音韻変化は「子音推移」と言い、この変化を大成したグリム兄弟の兄 Jacob Grimm に因んで「グリムの法則」とも呼ばれています。英語の p はドイツ語では f(f)に対応、deep-tief、hope-hoffen のように。その他にも英語の y はドイツ語では g に対応、yesterday-gestern のように。このような音韻対応を知ることによって英独語の語彙力が増しますよ。音韻のみならず文法や構文をも比較してその類似性と独自性を認識してみませんか。

日独両語の語彙を比べると、Fuß は踝よりも先の部分であるのに対して「足」は胴体から下の部分を指します。ドイツ語は Finger(手の指)と Zehe(足の指)を区別しますが日本語では双方とも「指」であり、「食べる」もドイツ語では essen(人が)と fressen(動物が)の区別、「置く」もその形状によって stellen と legen の区別をします。独英両語には定冠詞と不定冠詞がありますが、日本語にはこの品詞はなく格助詞「は、が」によってその機能が果たされています。「直ぐに行きます！」— Ich komme gleich!のように、日本語では主語の表示は必ずしも不可欠でなく、主語のない文が多いです。ドイツ語には従属文に現れる定動詞後置という語順があります。多くの場合文頭に置かれる「主語＋動詞」を除けば語順はほぼ日本語と同じです。英語既修者は「5文型」の強い影響を受けていますが、ドイツ語の語順は日本語に近いのですよ。「さあこれあげるよ」— Da hast du es.、「ありがとう」— Habe Dank.、「ちよっとお尋ねしますが、郵便局はどこですか」— Bitte, können Sie mir sagen, wo die Post steht.のように、ドイツ語では主語である「私」を主語とせず二人称の主語を立てて意思を表すなど主語の設定が異なることに気付かされます。

このような日独両語間の事象の捉え方、表現の相違は多くあります。このような観点で接するとドイツ語の背後にあるドイツ民族特有のものに興味を湧いてきませんか。

6月の企画委員会開催のお知らせ

この会は協会と会員との交流のための会です。協会の事業について種々の企画のご提案をいただき、協会の活動は活発化しています。

是非とも参加し、協会の運営や企画などにご意見を下さい。

日 時: 2025年6月14日(土)15:00～17:00

場 所: 神戸日独協会事務室兼会議室

話 題: 10月までの事業企画について。

ご出席いただける方は、事務室へ電話・メールにてご連絡ください。当日参加も可。

会報印刷・発送ボランティア募集 ～印刷・発行を事務室で行います

これまで会報の印刷は外部の印刷所にて印刷機を有料使用して会員ボランティアの協力を得て行ってきました。これが弊協会会報の大きな特徴でもあります。

会員への発行部数の減少と経費削減のために6月より協会事務所にてゼロックスを用いて印刷することになりました。会報の印刷・発送は両面印刷2～4枚に加えて、封筒発送のための手織り、封入など人手を要する作業です。これまでこれらの作業は会員のボランティアにより行われてきました。近年は毎月印刷では3名が、発送では4名の会員が献身的にご協力くださってきました。厚くお礼を申し上げます。

事務所での作業では手織り作業(印刷所では器械に依りました)が加わります。是非とも多くの会員のご協力をお願いいたします。

次回の印刷と発送は6月27日(金)を予定しています。

印刷・発送とも11時より神戸日独協会事務所にて行います(13時頃終了予定)。

お手伝いいただける方は事前に事務室へご連絡下さい(TEL 078-230-8150)。

行事等の写真について

会報では輪転機印刷のため写真等の掲載は略させていただきます。協会ホームページ及びSNSに掲載していますので、ぜひご覧ください。

 ホームページ Homepage	 インスタグラム Instagram	 X Twitter
---	---	---

これからの神戸日独協会の催し

日時	催し	会場	申込〆切 など
5月24日(土) 13:30～15:00	ドイツ歌声サロン	神戸日独協会教室	当日参加可
6月1日(日) 14:00～16:00	ハントアルバイトの会 (ポーセラーツ)	神戸日独協会教室	当日参加可
6月14日(土) 15:00～17:00	企画委員会	神戸日独協会会議室	当日参加可
6月15日(日) 13:30～15:00	ドイツ歌声サロン	神戸日独協会教室	当日参加可
6月21日(土) 14:00～16:00	ドイツ語談話室	神戸日独協会会議室	当日参加可
6月22日(日) 14:00～16:00	ハントアルバイトの会	神戸日独協会教室	当日参加可

